

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月2日

【評価実施概要】

事業所番号	0270800386
法人名	有限会社とんぷう
事業所名	グループホームさくらの里
所在地 (電話番号)	〒035-0021 青森県むつ市田名部字土手内74-237 (電話) 0175-22-1765

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年2月22日	評価確定日	平成22年4月2日

【情報提供票より】(平成 22年 1月 23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 9月 28日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	2人, 非常勤 8人, 常勤換算 3.55人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	19,500 円	その他の経費(月額)	3,000 ~ 冬期9,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(1月 23日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 83.2 歳	最低	63 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	むつ総合病院、三上医院、高橋歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>市街地にもほど近く訪問しやすい場所にあるが、事業所周辺は車の通りも少なく、民家に囲まれた静かで、安心出来る環境にある。ホールからは地元で愛着のある山々が見渡せるなど景色もよく、適度に明かりが差し込み心地よい空間となっている。事業所では、アセスメントや職員会議による現状把握を重視した利用者本意の支援を行っている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で課題となったのは、「権利擁護に関する制度の理解と活用」「虐待防止の徹底」「身体拘束をしないケアの実践」などマニュアル作成や職員間の知識等の共有に関した項目が多かったが、職員会議等を通じて改善されている。「運営推進会議を活かした取り組み」は試行錯誤していることが覗えたので、今後の発展に期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員と話し合いながら管理者がまとめている。外部評価については、職員会議によって評価の意義、評価結果などについて周知している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>委員の都合等により開催されていない。今後は、委員構成や開催方法の再検討を行い、まずは開催できる体制を整えられるような取り組みに期待したい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>家族の面会時には、その都度、受診状況などの近況や金銭管理の報告を行っている。また、家族の都合に応じて電話や訪問などによる報告を行っている。面会時などの際には、意見を表しやすいような雰囲気づくりを心がけたり、会話などから要望を汲み取れるように配慮し、家族等の意見は職員会議で検討し運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会への入会、地域の祭りへの参加、老人クラブの会合に毎月参加するなど、積極的な交流に努めているほか、清掃活動へ参加するなど、地域に貢献しながらグループホームへの理解が深まるような取り組みを行っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「私たちは、笑顔と奉仕と感謝の気持ちで入居者と接します」「私たちは、入居者に地域の中でその人らしい暮らしを支援します」の理念を掲げ支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の職員会議で理念について振り返り、個々の希望に沿った支援を心がけている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会への入会、地域の祭りへの参加、老人クラブの会合に毎月参加するなど、積極的な交流に努めているほか、清掃活動へ参加するなど、地域に貢献しながらより良い関係づくりに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は職員と話し合いながら管理者がまとめている。外部評価については、職員会議によって評価の意義、評価結果などについて周知している。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議への参加を呼びかけているものの、地域外の委員が多いことや委員の都合がつかないことにより、開催には至っていないが、個別の報告を行っている。</p>		<p>委員構成の再検討を行った上で、定期的を開催することが望まれる。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>成年後見制度についての情報交換を行うなど、必要に応じた連携を図っている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度を利用している方が入居しているため、後見人とも連携しながら、職員会議等を通じて職員間の情報共有に努めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>マニュアルを整備しているほか、職員会議を通じて虐待防止について職員全体に周知している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時には管理者が重要事項説明書などによる丁寧な説明を心がけているほか、看護師を同行させることで家族の安心感が高まるよう配慮している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時には、その都度、受診状況などの近況や金銭管理の報告を行っている。また、家族の都合に応じて電話や訪問、書類の郵送などによる報告を行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時などの報告の際には、家族が意見を表しやすいような雰囲気づくりを心がけたり、会話などから要望を汲み取れるように配慮している。家族等の意見は職員会議で検討し運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動はほとんど無いが、やむなく職員が離職する際には、十分な引継ぎ期間を設けて対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員会議の時間を利用した内部研修などにより職員育成や業務の見直しを行っている。また、日常的な指導により職員全体の力量の底上げを図っている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、同業者と様々な機会を捉え情報交換を行っている。また、同業者で構成される協会にも加入し、職員も含めた交流の機会が得られるよう努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の面談や見学時に本人や家族の気持ちを汲み取っている。これを基に職員会議を行い、出来るだけ早く馴染めるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の生活歴等を把握し、本人の趣味や得意なことを引き出し、支え合える関係作りに努めている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	事前の情報収集や日常の会話、家族との面談により、本人や家族の希望に沿うような支援をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメント結果、独自のケアチェック票などを用い、職員全員の意見を反映した、利用者本位の介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月開催する職員会議で、利用者個々の状態の変化を把握し介護計画に反映させている。また、作成された計画は、全職員が確認し、改善された項目のチェックを行うなど、課題や目標の管理を徹底している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望に応じて、病院や美容院への送迎、ドライブなどを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前に受診していた医療機関を引き続き利用している。通院は管理者や看護師が対応し、かかりつけ医の指示を仰ぎ、健康の維持に努めている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居前に重度化した場合の対応や方針について十分説明し、家族の了解を得ている。また、重度化した場合は、家族とも相談し、事業所等の紹介を行うなどの対応をとっている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人の誇りやプライバシーに配慮した声かけ、支援を心がけている。また、個人情報に関する書類は目に触れない場所に保管している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの性格や趣味を把握し、日常の会話を通じて、日々の希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>簡単な下準備や調理、片付けなどを職員と共に行うなど、個々の力を活かした支援をしている。また、職員は利用者と同じテーブルで楽しい雰囲気ですべてしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>職員の体制上、午後の入浴が基本となっているが、入浴日や回数などは希望に応じて対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴や特技を活かし、個々に重複しない役割を持って過ごしている。また、敷地内の畑は利用者の生きがい作りに役立てられている</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>土日など病院受診の無い日を利用してドライブや理容店へ出かけたり、近所への散歩を行い気分転換を図っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議や内部研修を通じて禁止事項の理解に努めている。また、日常の指導により身体拘束の無いケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵はかけていない。利用者が外出しようとする場合は、職員が付き添っている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の助言、協力を得て防災訓練を実施している。また、日頃から地域の集会などで有事の際の協力について依頼している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医師の指示などにより食事管理を行っている。摂取量は記録をとり摂取状態を把握している。個々の苦手な食べ物については、代替食を用意して対応している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対応のマニュアルを整備しているほか、季節に応じた湿度管理やうがい、手洗い、マスクの着用などを励行し予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は自然の光で明るい環境である。明るさはカーテンにより天候に応じて調整している。窓際に置かれた観葉植物や季節に応じた飾りつけなどにより、心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族や本人と相談し、使い慣れた物があれば持参していただいている。家族写真や個々の好みに応じた飾りつけがされている。</p>		

 は、重点項目。